

海のバインを遺伝子解析

ジェネティック・デバイス研究開発プロジェクト



川添良幸教授

三陸特産の「海のバイン」が、加齢医学研究所などを中心とする学際研究グループによって、人間の比較的近い遺伝子配列を持っており、その情報は人間についての応用も見込めるといわれている。川添良幸教授は、比較的短期間で解析が可能なプロジェクトの構成員の一人、川添良幸教授によると、三年でホヤの全遺伝子のマッピング、データベース化をする予定という。現在の事務取扱いは、加

三陸特産の「海のバイン」が、加齢医学研究所などを中心とする学際研究グループによって、人間の比較的近い遺伝子配列を持っており、その情報は人間についての応用も見込めるといわれている。川添良幸教授は、比較的短期間で解析が可能なプロジェクトの構成員の一人、川添良幸教授によると、三年でホヤの全遺伝子のマッピング、データベース化をする予定という。現在の事務取扱いは、加

船研内の脳画像リサーチセンター内で行われている。酒のおつまみとして知られるホヤだが、実は脊椎動物であることから、人間に比較的近い遺伝子配列を持っており、その情報は人間についての応用も見込めるといわれている。遺伝子（語句注）

一、DNAコンピュータの二重らせんを人為的に切断・接合し、複製することによってのジェネティック・デバイスへの応用を目指す。DNAの物性的な特性など様々な性質を分析し、DNAチップとしてのジェネティック・デバイスへの応用を目指す。

二、ヒトゲノム計画の解析で得られるデータから、DNAの全塩基配列解析を目的として、当初、解析終了の能力を持っている。L・M・エイドルマンという研究者がハミルトン並列というNP完全問題（現在、短時間で解くことが難しいとされる）をDNAコンピュータを用いて実験的に解いたこと、その後は個性差を考慮した精密な研究が進められる。

川添教授は「東北大学で

コンピュ

ータを用いて実験的